

《和歌山市学校教育指針》
○確かな学力の育成
○道徳教育の充実
○健やかな体の育成
○特別支援教育の推進
○不登校・いじめ問題の解消
○子供の安全確保の徹底
○地域と共にある学校づくりの推進

《保護者・地域の願い》
○学校からの情報発信を増やしてほしい。
○読書好きの子供を増やしてほしい。
○情報モラルについて、保護者にも啓発してほしい。
○地区の子供を守る会の方々と意見交換を行い、登下校の状況を把握してほしい。
○親子で体験できる活動を取り入れてほしい。

【 学校教育目標 】

心身ともにたくましく、豊かな人間性を身につけ、自ら学ぶ子供を育てる

- 【めざす児童像】
- 1 年:だれとでもなかよくできる子
 - 2 年:なかよくたすけあう子
 - 3 年:よく考え、助け合う子
 - 4 年:助け合い、ともに伸びる子
 - 5 年:自分で考え、進んで行動する子
 - 6 年:責任をもって意欲的に行動する子

《前年度の学校評価》
○HPの充実を図り、積極的に情報発信してほしい。
○道徳は子供達の正直な気持ちを伝え合う場にする。
○基礎学力向上への取組を校内で統一していくべき。
○算数の少人数学習を継続してほしい。
○児童の話し合いを重視した授業改善を行ってほしい。

《児童の実態》
○素直で明るく活動的である。
○全体的にあいさつを苦手になっている。
○学年が上がるにつれ、自尊感情が低下する傾向にある。
○どの学年も落ち着いて学習に取り組んでいるが、基礎学力の定着と書く力に課題がある。

重点目標

地域とともにある学校
◎学校だより・ホームページの発行・更新を通して、学校の情報を発信していく。
○地域の方々との交流を計画的・積極的に進める。

豊かな心
◎図書館教育の推進を継続する。
○道徳教育を計画的に進める。
○豊かな体験活動の充実を図る。

確かな学力
◎子供たちの話し合い活動を重視した授業改善に努める。
○基礎学力の定着を目指す。
○算数の習熟度別少人数学習を行う。
○高学年で教科担任制を導入する。

健やかな体と安全の確保
◎児童の安全確保のために、感染症及び熱中症への対策を十分に講じつつ、これまでの取組を計画的に行う。
○定期的な避難訓練に加え、集中豪雨時の危険個所を把握できるようにする。
○体力の向上を目指す。

具体的な取組

◎校長の思いや願い、学校の方針や考えを学校だよりやホームページに載せることで、保護者の学校への関心を高めるとともに、理解と協力を得られるようにする。
○本校の公開指標に則して、ホームページを適宜更新していく。
○開放月間の目的を積極的に告知して来校者を増やす。
○保護者・地域の方に学校へのボランティア活動を依頼するとともに、校長自らが積極的にコミュニケーションを図っていく。

◎子供達の素直な気持ちを伝え合う場となるよう、話し合いを中心に据えた道徳の授業を創っていく。
○これまでの経験を生かして学校図書館の環境づくりを継続し、読書活動の充実・推進を図る。
○学校や家庭、地域の間において、児童が体験活動を行えるように工夫する。
○清掃活動やあいさつ運動を大切にする。

◎話し合いを中心に据えた研究授業を行う。
◎5、6年生の算数において、習熟度別少人数学習を行い、学習意欲を高める。
○基礎学タイムに行う内容を校内で統一する。
○市や県からの配付・配信されたテスト・問題等を確実に実施する。

◎こまめな水分補給など熱中症への対策を理解させる。
○換気・手洗いの徹底を継続する。
○地震・火災・不審者侵入に対する避難訓練を計画的に実施する。
○集中豪雨時の危険個所について情報共有する。
○登下校時の安全に対する意識を高めさせる。
○保護者や地域に情報を早く正確に伝えることに努め、理解と協力を仰いでいく。
○外遊びや夏休みのラジオ体操を推奨する。

指標

学校評価アンケート項目「学校は、学校の教育活動や子供の様子を保護者にわかりやすく伝えている」において、『思う方』の回答が75%を超える。

・図書室への総来室者数⇒前年度を維持
・保護者アンケートで学校教育・生活でのルールやマナー、モラルに関する設問にて、前年度より「わからない」という回答を減らす。

県学習到達度調査の結果が県の平均を上回る。

学校評価アンケート項目「学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を十分行っている」において『思う方』の回答が85%を超える。

◎・・・重点的に取り組むこと